一人ひとりの思いをカタチに
食農立国
JAいわて中央

ほっぷ すてっぷ
JAんぷ じゃ

2026
11
Vol.333



特集
笑顔満開！魅力満載！
JA秋まつり

JAいわて中央



未来へつなぐ 食農立国 Vol.130

学び続けるリンゴづくり

今月の表紙

川村（かわむら）　勝弘（かつひろ）さん（71）

秋も深まり始めた10月末、矢巾町東徳田の川村勝弘さんの園地では、鮮やかな赤や黄色に色づいたリンゴが枝をしならせるほどの実をつけていました。

川村家では早生種の「きおう」から中生種の「紅玉」、晩生種の「ふじ」まで、約40アールの園地で10品種を栽培しています。2月の剪定から始まり、収穫、園地の片付けまで、一年を通して手作業を中心に作業に取り組んでいます。

「毎年気候が違うので、同じようにはいきません。剪定時に枝の伸び方など考えて作業をしても、収穫時期になると思い通りにならないこともあります」と話す勝弘さん。摘果や葉摘みなど日々の細やかな手入れを欠かさず、愛情を込めて良質なリンゴを育てています。

勝弘さんが本格的に農業に取り組み始めて今年で7年目。それまでは矢巾町役場に勤務し、退職後も矢巾町スポーツ協会の会長を務めるなど、現在も週の半分は他の仕事をしながらリンゴ栽培をしています。

一人ひとりの思いをカタチに
食農立国 JAいわて中央

『食農立国』とは、JAいわて中央管内で生産される農畜産物や地域のブランド化を目指した商標登録名です。JAいわて中央が目指す『食農立国』には、食を囲む人たちと、農業を営む人たちとの繋がりを大切にし、『その食卓の向こうに安全・安心で美味しい農畜産物と美しい農村の風景を提供し続けたい』という思いが込められています。



「食べた人から『おいしかった』と言ってもらえることが一番の励みです」と話す勝弘さんと喜久子さん。農作業は大変なことも多い一方、夫婦にとっては「健康維持にもつながる大切な日々」といいます



果実全体に日光がまんべんなく当たるよう葉を摘み取り、裏側にも色がつくよう一つ一つ果実を回します。鮮やかに色づくリンゴを目指し、手間を惜しまず作業に励みます



今年のリンゴは全体的に実が大きく、味も良好。収穫は8月下旬から始まり、品種を変えながら12月上旬まで続きます

現在、農作業の中心を担うのは妻の喜久子さん。以前は仕事の傍ら、両親の農業を手伝っていましたが、母が亡くなったことをきっかけに、喜久子さんも本格的に栽培に携わるようになりました。

ご夫婦ともに、それまで収穫などは手伝っていたものの、栽培途中の細やかな作業については分からないことも多く、父・誠さんや周囲の生産者、JAの研修会などで学びながら、一つずつ知識と経験を積み重ねてきました。春先の摘果作業などは町シルバー人材センターにも依頼し、最盛期には息子さん一家も収穫を手伝うなど、家族や周囲の協力が大きな支えになっています。

また、近年はカラスやサクラドリによる鳥害にも悩まされました。「対策として園地に太めのテグスを格子状に張り巡らせたところ、被害の軽減につながりました」と話す勝弘さん。「無理をせず、作業を残してでも切り上げ、次の日に備えることを心がけています」と作業中の事故にも注意を払います。

「何年やっても『これで成功』ということはありません。周りに教えてもらいながら、絶えず勉強しています。まだまだ新人ですから」と笑顔を見せる勝弘さん。「今後は新しい品種の生産にも挑戦したいです。木を植えて実が採れるようになるまでに最低5年はかかるので、情報を集めながら考えていきたいです」と未来を見据えます。学びと工夫を重ね、おいしいリンゴ作りへの挑戦は続きます。

目次 CONTENTS

未来へつなぐ食農立国 …… 2
川村 勝弘さん（矢巾町）

特集 …… 4
笑顔満開！魅力満載！　JA秋まつり

NewsFile …… 8
米の流通から味わいまで学ぶ
わくわく純情プランター 他

営農情報 …… 10
今年の稲作概況と来年の対策について 他

女性部レポート …… 12

食べてみて！おらほのイチオシ

まちのスマイル …… 13

生活情報コーナー
サン・フレッシュ都南さ おでってくなんせ！

インフォメーション …… 14
JAバンク岩手 ウィンターキャンペーン2026 他

今月のレシピ …… 16
切り干しダイコンのオムレツ

JAいわて中央のホームページでは、広報誌のバックナンバーを公開しています。
詳しくはこちら▶

特集

笑顔満開！魅力満載！

JA秋まつり

10月17日、18日の両日、紫波町、矢巾町、盛岡市で秋まつりが開かれました。会場では、JAや生産部会、JA女性部による農畜産物・加工品などの販売をはじめ、JA青年部主催の○×大会、もちまき・お菓子まきなどの多彩な催しが行われました。各会場は多くの来場者で賑わい、秋を楽しむ笑顔があふれました。

今月の特集では各地域の秋まつりの様子をご紹介します。

大盛況！もちまき



約1万2,000個の丸もちをまき、当たり付きを手に入れた来場者には、しわもちもち牛やシャインマスカットなどが贈られました

SHIWA

第41回 紫波町産業まつり

in サン・ビレッジ紫波



岩手のアイドル！

ふじポンも来たよー！



小学生以下　お菓子まき



お菓子楽しみだなぁ！



ＪＡ畜産部会

しわもちもち牛・しわ黒豚
アイコープ豚の販売

お肉の特価販売は
毎年大人気!
生産者やＪＡ職員、
いわて純情むすめが
店頭でPRしました





ＪＡ女性部





JA女性部特製のうどんと
そばのほかPanoPano
の「もち姫」のパンなどを
販売しました

ＪＡ青年部



おめでとうございます！



大人気の「○×クイズ」では、勝ち抜いた参加
者にお米やお肉などの特産品が贈られました

満１歳一升もち背負い

いっしょに歩こう







いくよー！



YAHABA

令和8年度 矢巾町秋まつり

in 矢巾町役場駐車場内特設会場

もちまき



約1万個のもちをまきました

原木しいたけ生産部会 原木しいたけもぎ体験





大きいシイタケをゲット！



ＪＡ女性部



部員が持ち寄った洋服や食器などを販売しました





高橋昌造矢巾町長やJAの菅原弘範常務らによる「ヒメノモチ」のもちつきが行われ、つきたてのもちが来場者に振る舞われました

もち米生産部会矢巾支部 もちつき・お振るまい

何が当たるかな？



水稲生産部会矢巾支部 ガチャガチャ抽選

MORIOKA

JAいわて中央×サン・フレッシュ都南 秋の収穫感謝祭

in サン・フレッシュ都南 駐車場内特設会場



JAブース



洋ナシの販売とリンゴの詰め放題を行いました





「早生ふじ」や「トキ」などのリンゴが詰め放題！



もちまき





ステージイベント



三本柳さんさ踊り・都南太鼓保存会や松園ベンチャーズなど多彩なステージが会場を盛り上げました

もはや芸術作品！







野菜の詰め放題

里芋やキュウリ、ニンジンなど10種類以上の野菜を袋いっぱいに詰め込みました

・NEWS FILE・





「きき米」に挑戦する参加者

米の流通から味わいまで学ぶ わくわく純情プランター

YouTube

ＪＡは10月３日、県内ＪＡ統一活動「わくわく純情プランター」の３回目のイベントを紫波支所などで開き、管内の児童30人とその家族が参加しました。

スペシャルゲストにいわて純情むすめを迎え、矢巾カントリーエレベーターや米倉庫を見学。米の集荷・保管から消費者に届くまでの流れを学びました。また、「銀河のしずく」や「ひとめぼれ」など４種類の米を食べ比べる「きき米」に挑戦。昼食には新米「銀河のしずく」でおにぎりを作り、「しわ黒豚」と地元野菜が入った豚汁を味わいました。

次期作へ栽培管理を学ぶ キュウリ「根（コン）」テスト

ＪＡ野菜生産部会キュウリ専門委員会は10月19日、矢巾地域営農センターで「キュウリ根（コン）テスト」を開き、生産者や盛岡農業改良普及センターの職員、ＪＡ担当者ら15人が参加しました。

栽培終了後の根の状態を確認し、次期作の栽培管理に生かすことを目的に、露地栽培とハウス栽培のキュウリ10株の根を確認。参加者は根の量や長さ、病害虫の発生状況などを観察し、今年の栽培を振り返りながら、今後の栽培に向けて理解を深めました。



情報交換をしながら根の状態をチェックしました



担任教諭から矢巾町産食材の説明を受け、給食を楽しみました

地元農畜産物の魅力を給食で おいしさ発見！「やはばっこ給食」

矢巾町の小・中学校６校で10月16日、矢巾町産食材を使った「やはばっこ給食」が提供されました。町産シイタケと町産大豆の味噌を使ったシュウマイや、町産米「ひとめぼれ」のご飯などが並び地元の恵みを味わいました。

矢巾東小学校２年生の児童は「矢巾町のシイタケと聞いて驚いた」「ご飯がモチモチしておいしかった」などと話しました。この給食は毎月19日の「食育の日」に合わせて提供。地元の農畜産物のおいしさと魅力を子ども達に伝え、農業や地産地消への理解を深めることを目指しています。

・SDGsへの
・取り組み

SDGsとは、2015年に国連193の加盟国で採択され、環境問題や社会問題などを解決し、2030年までに「持続可能な世界を実現する」ための世界共通の17の目標です。
JAいわて中央では事業活動や行事などを通じてSDGsの実践に取り組んでいます。



出荷基準などを確認する参加者

出荷に向け選果基準を確認
リンゴ晩生品種目ぞろい会

ＪＡは10月29日、リンゴの晩生品種の目ぞろい会を管内6カ所で開き、サンふじや「シナノゴールド」などの受付対策や選果基準などを説明しました。

盛岡市乙部の園地で開いた目ぞろい会には、生産者やＪＡ担当者ら約40人が参加。今年は着色や蜜入りの進行に好適な気象条件となり、果実も大きくサンふじの糖度も平年より高めに推移しています。ＪＡ担当者は「寒波や台風など気象状況に注意して、収穫が遅れないよう計画的に作業を進めましょう」と呼びかけました。

JAの幅広い仕事を学ぶ
矢巾町立矢巾中学校

矢巾町立矢巾中学校の２年生２人は10月27日、28日の二日間、ＪＡ矢巾選果場などで職場体験を行いました。生徒らは、米倉庫などの施設を見学し、農産物の保管や出荷について学んだほか、選果場では洋ナシの箱詰め作業を体験。また、金融や共済の業務についても説明を受け、ＪＡの概要や地域における役割について理解を深めました。

参加した生徒は「ＪＡは農畜産物に関わることだけでなく、金融や共済など幅広い仕事をしていることを知った」と話し、ＪＡの仕事に関心を寄せていました。



洋ナシの箱詰め作業を体験する生徒ら



児童らが育てたもち米は同校の収穫祭でもちつきをして味わう予定です

初めての脱穀体験に興味津々！
盛岡市立飯岡小学校

盛岡市立飯岡小学校の５年生48人は10月23日、校舎東側の水田でもち米「ヒメノモチ」の脱穀体験を行いました。同校５年生は毎年、田植えや稲刈り、脱穀などの体験を通じて、地元の米作りや農業について学んでいます。

脱穀にはハーベスターを使用し、地元生産者の浅沼清一さんや地域住民らが協力。９月の稲刈り後、天日に干していた稲を機械に入れ、わらと籾とに分かれる様子を観察しました。浅沼さんは「春から悪戦苦闘して取り組んだ米作り。収穫の恵みに感謝し味わってほしい」と話しました。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
1 貧困をなくそう　2 飢餓をゼロに　3 すべての人に健康と福祉を　4 質の高い教育をみんなに　5 ジェンダー平等を実現しよう　6 安全な水とトイレを世界中に　7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに　8 働きがいも経済成長も

米穀

今年の稲作概況と来年の対策について

今月の担当
営農販売部米穀推進課

今年の水稲は、田植え後の5月下旬から6月上旬の低温により、分げつ期の生育が平年を下回った圃場が見受けられました。

また、出穂期から登熟期にかけての曇雨天の影響により、登熟障害による収量や品質の低下が見られました。

近年、気象変動が激しく米の収量や品質に大きな影響を与えています。気象条件に左右されないよう、来年は次のことに注意して栽培管理を行いましょう。

1. 低温・日照不足により収量・品質低下を引き起こす要因と対策

【要因】

①移植後の低温により、分げつが抑制され穂数確保が出来ず、収量低下の原因となります。

②出穂後30日までの日照不足は、青未熟粒・乳白粒・茶米粒等を増加させ、品質を低下させます。

③登熟初期の日照不足は、発育停止籾が発生する原因となります。

【対策】

①移植後に低温が続く場合、稲を保護するため深水で管理しましょう。

②窒素質肥料の施用が多すぎると、生育を緩慢にするため施肥量は地帯別・品種別の基準量を順守しましょう。

③登熟が遅れている場合は、できるだけ登熟を促進させるため、熟色や稔実程度をよく観察しながら徐々に落水を行いましょう。特に、落水時期が早すぎると登熟が不十分となり、収量、品質が低下するので注意が必要です。

2. 高温登熟障害の対策

①作期の検討

極端な早植えは行わず、出穂期を遅らせて涼しくなってから登熟するように、遅植えや直播栽培をするなど移植時期を計画します。

②作土深の確保と施肥管理

作土深を15㎝以上確保します。根張りをよくすることで根の活力が後半まで維持され、気象変動の抵抗力が高まります。

施肥は、生育後半に稲の栄養が不足（葉色が淡い）しないように管理します。また、土壌・生育診断に基づく施肥設計を行います。

③適正な水管理の実施

出穂期から20日間は、昼間は自然落水させて気温が下がる夕方以降に入水する「間断かん水」を繰り返します。圃場内の地温・水温を下げることで高温登熟で生じる「白未熟粒」や「胴割粒」の発生を少なくすることができます。

3. 温暖化によるイネ紋枯病の発生

近年、温暖化の影響により、高温多湿の環境下でまん延しやすいイネ紋枯病の発生が増加しています。

イネ紋枯病は、いもち病に並ぶ重要な病害で、発生した株は倒伏しやすくなるだけではなく、光合成や養分・水分の吸収が阻害されるため、収量と品質が低下します。発生が多い年は菌核形成も増加することから、翌年の感染に備え対策する必要があります。



イネ紋枯病

【対策】

①稲ワラの除去

代掻き後に浮上するワラなどの植物残渣に菌核が付着するため除去しましょう。

②農薬防除

イネ紋枯病に効果のある育苗箱処理剤や本田処理剤を使用します。

③施肥管理

土壌の窒素が多すぎると茎が軟弱化し、感染した際に倒伏する恐れが高まります。イネ紋枯病の影響を防ぐためには、窒素肥料の多用を避ける必要があります。

④畦畔雑草の防除

畦畔雑草に形成した菌核は翌年の伝染源となるので、被害を抑えるためにも農閑期の除草を徹底しましょう。



労災保険への加入を確認しましょう



農作業事故に備え、働く人とその家族の生活を守るため、労災保険への加入が重要です。制度改正により、個人経営で常時雇用する労働者が5人未満の農業経営体も、遅くとも2031年7月までに加入が義務化されます。農繁期に1日だけアルバイトを雇う場合なども対象となります。労災保険は、仕事中や通勤中のケガなどに対し、治療費や休業時の補償などを行う制度です。経営者本人が加入できる「特別加入制度」もあります。義務化を待たず、現在の加入状況を確認し、早めの加入をご検討ください。

お問い合わせ　岩手中央農業協同組合労働保険事務組合
紫波地域営農センター内無料職業紹介所　☎676-3346

詳しくはこちら

令和8年産 米検査買入状況並びに等級比率（10月31日現在）

地域	うるち					
	1等	2等	3等	規格外	集荷量計	計画数量
紫波	133,472	5,483	68	16	139,039	152,826
	96.0	3.9	0.0	0.0		91.0
矢巾	127,361	1,917	42	10	129,330	154,386
	98.5	1.5	0.0	0.0		83.8
都南	92,411	2,675	——	36	95,122	111,442
	97.1	2.8	——	0.0		85.4
盛岡	6,928	149	——	——	7,077	78,603
	97.9	2.1	——	——		9.0
JA計	360,172	10,224	110	62	370,568	497,257
	97.2	2.8	0.0	0.0		74.5
地域	もち					
	1等	2等	3等	規格外	集荷量計	計画数量
紫波	138,873	19,218	1,861	1,387	161,339	163,831
	86.1	11.9	1.2	0.9		98.5
矢巾	25,261	3,911	553	——	29,725	27,254
	85.0	13.2	1.9	——		109.1
都南	150	——	52	——	202	100
	74.3	——	25.7	——		202.0
盛岡	——	——	——	——	0	——
	——	——	——	——		——
JA計	164,284	23,129	2,466	1,387	191,266	191,185
	85.9	12.1	1.3	0.7		100.0

（上:30kg／個　下:比率%）

岩手県最低賃金

時給 1,090円

（令和8年12月1日発効）

事業主も労働者も確認しましょう！

全ての事業主は、雇用する労働者（パート、アルバイト等を含む）に、最低賃金以上の賃金を支払わなければなりません。

子牛市場情報（令和8年10月16日・中央家畜市場）

区分	地区	頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均体重	前月比
雌	紫　波	14	760,000	566,000	670,786	285	-55,714
	矢　巾	7	722,000	364,000	634,571	293	-90,429
	盛　岡	5	705,000	683,000	696,400	283	-32,100
	ＪＡ計	26	760,000	364,000	665,962	287	-60,811
	市場計	102	853,000	364,000	674,314	292	-30,884
区分	地区	頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均体重	前月比
去勢	紫　波	25	892,000	472,000	724,120	320	-72,951
	矢　巾	10	851,000	670,000	785,100	336	-6,400
	盛　岡	10	862,000	840,000	790,500	312	-35,667
	ＪＡ計	45	892,000	472,000	752,422	322	-49,292
	市場計	127	946,000	371,000	744,724	321	-43,179

女性部レポート
JA Ladies
Female department Report

受け継ぎたいふるさとの味
伝統食教室で学ぶ地域の食文化





生地をまとめるのに苦労する場面もありましたが、おいしく仕上がりました

ＪＡ紫波地域女性部は10月28日、紫波支所調理室で伝統食教室を開き、同部とフレッシュ部あわせて14人の部員が参加しました。

鎌田都美子女性部長が講師を務め、伝統菓子「きりせんしょ」作りに挑戦しました。生地にうるち粉と紫波町産のもち小麦「もち姫」を混ぜるなど、柔らかい歯ごたえにこだわった鎌田部長考案のレシピ。部員らは手順のポイントを確認しながら、手早く生地を練り、一つずつ丁寧に仕上げました。参加者は「市販品とはひと味違うやさしい味付け。地元食材をおいしく味わえた」「伝統食を学ぶよい機会になった」などと話し、ふるさとの味を楽しみました。

部員募集中！

【女性部・フレッシュ部加入のご相談・お問い合わせ】
紫波地域 ☎676-3342　矢巾地域 ☎697-6211
盛岡地域 ☎656-3700



―矢巾の恵みが香る もちもち食感の和風ピザ―

食べてみて！
おらほのイチオシ

矢巾町・間野々

エコレストラン あいのの

〒028-3605
矢巾町間野々12-50
TEL 681-0304
【営業時間】
11:00～14:30(14:00L.O)
【定休日】月・火・水曜日・年末年始
※ピザの提供は金・土・日曜日

ホームページ　𝕏

おすすめは

みそきのこピザ　950円(税込)

矢巾町の福祉施設「社会福祉法人新生会ワークセンターむろおか」が運営する「エコレストランあいのの」。障がいのある方々もいきいきと働く同店は、米や野菜など町内産の食材を取り入れ地産地消に力を入れています。豊富なメニューの中で評判なのが、自慢の薪窯で焼き上げる本格ピザ。一番人気は、矢巾町産の肉厚な原木シイタケと町産大豆の味噌を使った「みそきのこピザ」です。立ちのぼるシイタケの豊かな香りは原木ならでは。ほんのり甘くコクのある味噌は、厳選した濃厚チーズとの相性も抜群です。レギュラーサイズ、一人ランチにもぴったりなミニサイズから選べ、テイクアウトも可能。地元産食材にとことんこだわった一枚をぜひ焼き立てで味わってみてはいかがでしょうか？

まちのスマイル



なかよしファミリー

紫波町・日詰
大野貴さん・結さんのお宅

大野（おおの）　洸（こう）くん（9）　輝（ひかる）くん（6）

体を動かすことが大好きな大野家の仲良し兄弟。兄の洸くんは水泳と陸上に取り組み、今年の運動会ではリレーのアンカーを務めました。面倒見がよく周りから頼られることが多い洸くん。本で読んだ司法書士の職業に興味を持ち「将来は人を助ける仕事がしたい」と話します。スポーツ選手を夢見て、お父さんとのランニング練習に励む弟の輝くんは天真爛漫なムードメーカー。好きな遊びは「お兄ちゃんとのキャッチボール！」と目を輝かせます。ご両親は「何よりも元気が一番。これからも兄弟仲良く過ごしてほしい」と２人の成長を見守っています。

くらしに役立つおすすめ情報をお届け！

生活情報コーナー

エーコープマーク品のおすすめ



ほめられ酢
300ml

かけるだけ！
つけるだけ！
まぜるだけ！

「ほめられ酢」の活用レシピはこちら➡

ＪＡ全農×ＪＡ女性組織フレッシュミズ
共同開発商品

まろやかな酸味の便利な調味酢

お酢特有のツンとした酸味を抑えたさわやかな風味の万能調味料。酢の物だけでなく、煮物や炒め物、スイーツまでさまざまな料理に幅広く利用できます。使いやすい300mlサイズと大容量でお得な1lサイズもあります。

初回配送料無料!!

おうちでラクラクお買い物！
A-COOP JAくらしの宅配便
にて好評販売中

各地域のグリーンセンターでもお取り扱いしております

サン・フレッシュ都南さ
おでってくなんせ！

今月の店長のおすすめ！



佐々木店長

リンゴ



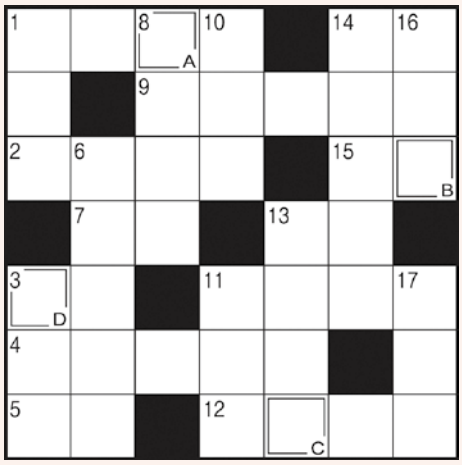
リンゴの最盛期を迎え、サン・フレッシュ都南では11月20日から「贈答りんごまつり」を開催します。厳選のギフト用を中心に3・5・10kg入りと様々な規格を取り揃え、ご自宅用も販売します。大切な方への贈り物に、岩手が誇る旬の味をぜひご堪能ください。

イベント情報
●しわもちもち牛フェア
11/14(土)・15(日)
●贈答りんごまつり
11/20(金)～12/20(日)

サン・フレッシュ都南
盛岡市下飯岡21-180 TEL 637-6801　営業時間9:00～18:00

CROSSWORD クロスワード

二重マスの文字をA～Dの順に並べてできる言葉は何でしょうか？



応募方法 郵便はがきにクロスワードの答え・郵便番号・住所・氏名・年齢、今月のテーマにまつわる話・誌面の感想をご記入の上、下記宛にお送りください。正解者の中から抽選で、JAやサン・フレッシュ都南で使える「農協全国商品券500円分」を5名様にプレゼント！

今月のテーマ あの人にありがとう　**応募締切** 11月25日 必着

送り先 〒028-3453 紫波町土舘字沖田98-20
JAいわて中央
「JAんぷ11月号お楽しみクイズ」係

ホームページ 広報誌プレゼント応募フォーム ▶

E-mail kouhou3244@ja-iwatechuoh.jp

＼コチラから／

※ご記入いただいた個人情報は、おたよりコーナーへの掲載、並びにプレゼントの発送にのみ使用いたします。
当選の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

10月号の答え
「ハイキング」



➡ヨコのカギ

①旧暦11月の異称
②他のグループの客は入りません
③俳句に入れて、季節を表現
④もう9時？！寝過ごした！
⑤アウトの反対語
⑦積もれば山となります
⑨博多名物の辛子――
⑪ここの紅葉の名所は、東福寺や南禅寺などが有名
⑫赤ちゃんが誕生時にあげる声
⑬割り算。加減乗――
⑭ネコが前足で洗う場所
⑮アイロンでのばします

⬇タテのカギ

①仏教の開祖です
③「エイッ！」「ヤアッ！」と声を出して入れることも
⑥千歳飴がつきものです
⑧指先でパチンパチンと切る道具
⑩固定――の住宅ローンを借りた
⑪メーカー――小売価格は9800円です
⑬とってもタフです
⑭ストレス――にカラオケへ行った
⑯漢字で書くと「御強」。もち米で作ります
⑰人の長所や美点のこと

おたより紹介　テーマ▶文化祭の思い出

昔々の高校の文化祭のお話。地歴研究部で牧庵鞭牛和尚の研究をし公開しました。宮古市の茂市に行き、和尚が実際に使った掘削道具などを借り展示したり。その時一緒に行った後輩が今の私のかみさんです。　（又兵エ新田・H／78歳）

文化祭の思い出は、中学生のときは部活の発表でファッションショーをしたこと、高校生のときは茶道部でお茶会をしたことです。
（北松園・N／36歳）

高校生活最後の文化祭、いろいろな屋台を出しました。準備が大変だったけれど楽しい思い出になりました。　（向中野・N／17歳）

文化祭といえばクラス対抗の合唱があり、一生懸命練習しました。
（彦部・A／63歳）

高校時代、たまに話す程度の学課の違う友人がいました。その子が軽音楽部に所属していたので、文化祭でギター演奏しているのを見に行きました。普段とは違う彼女の一面を見られてうれしかったです。
（山岸・I／43歳）

文化祭といえば、生物部でしたので、葉っぱの葉脈のしおりを作って販売したことを思い出しました。きれいに作ると素敵なしおりになり、うれしかったです。落ち葉を拾い、廊下に敷き詰めたり、有志のバンドも見たりと、文化祭ならではで楽しかったです。　（東徳田・K／72歳）

タイヤ整備作業料金を改定します

改定日 令和8年11月24日（火）

新料金 ホイール付きタイヤ脱着料金（税込・1本）

軽乗用車　660円
乗用車　770円

そのほかの改定内容はこちら

お問い合わせ JA紫波車輌センター ☎673-7127

理事会報告

10月定例理事会が10月29日、紫波支所で開かれ次の事案について決議されました。

【決議事項】
1　固定資産（太田地区農業倉庫等高圧受変電設備更新工事）の取得
2　農作物検査業務規程の一部改正

役員手帳



農業者の声を政策に JAグループが緊急要請

代表理事専務
佐々木　正春

先般10月14日、JAグループ（全国農業協同組合中央会）は、東京都内で「持続可能な農業・農村の実現に向けた農政確立緊急全国大会」を開き、全国のJA代表者が出席しました。大会では、与党（自民党・日本維新の会）の農業政策責任者に、農業政策に関する緊急要請書を手渡しました。

要請は5項目で、①「米の需給環境の改善と新たな水田政策の早期具体化」では、食料安全保障の確保の観点から、政府備蓄米の適正水準への回復や十分な支援の確保、②「食料システム法に基づく適正な価格形成の実現」では、食品取引におけるコスト割れの抑止、③「中東情勢を含む資材価格高騰等への機動的かつ万全な対応」では、燃料・肥料・飼料などの価格高騰対策を求めました。さらに、④「飲食料品の消費税の見直しに伴う農業者への不利益等の回避」の措置、⑤「ばれいしょ輸入解禁協議への対応・国内生産基盤強化対策」を要請しました。

農業者が安心して営農を続けられる環境づくりは、地域農業の維持・発展と食料の安定供給に欠かせません。今後も農業者の声を大切に、関係機関と連携し、持続可能な農業・農村の実現を目指します。

INFORMATION

JAバンク岩手・JAいわて中央 ウィンターキャンペーン2026

キャンペーン期間　令和8年12月30日（水）まで

定期貯金を新たに預入または増額される方
（預入額10万円以上、預入期間1年以上の自動継続）

キャンペーン特設ページはこちらから



※お一人様各1個まで。商品がなくなり次第終了とさせていただきます

詳しくはお近くのJA金融窓口・金融渉外までお問い合わせください

令和9年度岩手県立盛岡農業高等学校 特別専攻科学生募集のご案内

高校卒業後の新規就農者及び農業に興味関心を抱いている方々を支援する社会人教育の学科です。園芸専攻では野菜栽培をしたい方向けの基礎基本を、畜産専攻では畜産の基礎はもちろん、家畜人工授精師や受精卵移植師等の資格取得が可能です。週2日登校して学習、修業年限は2年間です

ホームページはこちら

入試日程
- 願書受付　令和8年11月4日（水）～18日（水）
  ※入学条件は高等学校卒業または卒業見込みの方です
- 試験日　令和8年11月25日（水）
- 試験内容　面接・作文　募集定員　20名

入試に関するお問い合わせ　岩手県立盛岡農業高等学校特別専攻科 ☎688-4211

スタッドレスタイヤキャンペーン

軽トラック・軽バン用のスタッドレスタイヤを、キャンペーン特別価格で販売します。タイヤ交換の工賃も期間中は特別価格！ 冬道への備えはお早めにどうぞ。

キャンペーン期間　令和8年11月16日（月）～12月25日（金）

■タイヤ4本＋交換工賃の総額（税込）

ブリヂストン W300	30,096円
ダンロップ LV01	27,456円

ご利用特典！　期間中にご利用いただいた方へ、ボックスティッシュ1箱をプレゼント！

お問い合わせ・お申し込み　JA紫波車輌センター ☎673-7127

JAほっぷ
Vol.333 令和8年11月11日発行
ホームページ https://ja-iwatechuoh.or.jp/

ミックス
紙「責任ある森林管理を支えています
FSC® C103798
この冊子は植物にやさしいベジタブルオイルインキを使用しています。
VEGETABLE OIL INK

This month's recipe

新鮮食材で楽しくクッキング

今月のレシピ

186杯目



みんなのよい食プロジェクト
食は日本の未来。
JAいわてグループ

切り干しダイコンのオムレツ

材料(2人分)

卵…… M3個(1個当たり60g)
切り干しダイコン …… 30g
ニンニク …… 1片(5g)
青ネギ …… 2本(50g)
ごま油 ……大さじ1+大さじ1/2
しょうゆ ……小さじ2
塩…… 1つまみ
こしょう …… 少々

作り方

❶ 切り干しダイコンはひたひたの水に10分浸けて戻し、ぎゅっと絞ってから長さ3㎝のざく切りにしておく。ニンニクはみじん切り、青ネギは小口切りにしておく

❷ フライパンにニンニクとごま油(大さじ1)を熱し、香りが出たらネギと切り干しダイコン、しょうゆを加え、きつね色になるまで炒める

❸ ボウルに卵と塩、こしょうを入れて混ぜ、❷を加えて混ぜる

❹ ❷のフライパンを軽く拭いて、残りのごま油(大さじ1/2)を引き、❸を加えて丸く延ばし、外側が固まったらひっくり返してよく焼いて出来上がり

編集後記



佐々木

先日、田んぼに白鳥が舞い降りているのを見かけ、優雅に過ごす姿に思わず足を止めて眺めてしまいました。白鳥の飛来に、冬がもうすぐそこまで来ていることを実感します。秋だなぁと思ったら、あっという間に冬支度の季節となりました。これからますます寒くなりますが、温かい食事や旬の味覚を楽しみながら、元気に冬を迎えたいですね。



小倉

今月の特集は10月に開催されたJA秋まつり。天候に恵まれ、どの会場も多くの来場者で賑わいました。新鮮な農畜産物に目移りし、もちまきの熱気に圧倒され、取材をしながら私もすっかりお祭り気分に。皆さんの笑顔にふれ、地域の秋まつりは賑わいを生み出すだけでなく、人と人とのつながりを育む大切な場だと改めて感じました。

発行／岩手中央農業協同組合　〒028-3453 岩手県紫波郡紫波町土舘字沖田98-20
編集／企画管理部企画課 ☎(019)673-7480　印刷／川嶋印刷株式会社